

# JPALS 活用術 メリット等の経験談

JAPAN PHARMACEUTICAL ASSOCIATION LIFELONG LEARNING SUPPORT SYSTEM

## Ⅲ キーワード検索の活用

実践記録の本数が増えてくると「どの実践記録にどんな内容を記載したか」を覚えておくことは困難な状況になります。せっかく実践記録を記載しても使わなければもったいないと思います。

そこでお伝えしたいのが「キーワード検索の活用」です。

Ⅲ下記は「SGLT2」をキーワードに検索した場合の例となります。

- ① 「実践記録」をクリックし、
- ② キーワードに「SGLT2」を入力し、
- ③ 「検索」をクリックすると、
- ④ 「総件数：80件」から
- ⑤ キーワードの「SGLT2」にヒットした「総件数：3件」が表示されます。

The screenshot shows the JPALS website interface. At the top, there is a banner with the JPALS logo and the text '日本薬剤師会 生涯学習支援システム'. Below the banner, the navigation bar shows 'HOME > 実践'. On the left side, there is a user profile section for 'さん' (Member), showing '前回ログイン日時' and 'あなたのクリニカルラーダー' (Level 5). Below this is a 'ポートフォリオ' (Portfolio) section with links for 'プレチェック', '計画', '実践記録' (circled), 'myノート', 'PS学習状況確認', and 'e-ラーニング受講'. The main content area is titled '実践記録' and contains a search form. The form includes fields for '研修形式' (All), '学習期間' (Start/End date), '登録状況' (All), and 'キーワード' (SGLT2, circled). A '検索' button (circled) is located below the keyword field. Below the search form, it shows '総件数: 80件' (circled). At the bottom, a table header is visible with columns: '研修形式', '学習日', '提出年月日', and 'タイトル'.

認定証ダウンロード

- ポートフォリオ**
- > プレチェック
  - > 計画
  - > 実践記録
  - > myノート

> PS学習状況確認

> e-ラーニング受講

> Webテスト

- メニュー**
- > HOME
  - ▼ 早わかり！JPALS
  - > ご利用ガイド
  - > 登録内容変更
  - > よくある質問
  - > お問い合わせ
  - > ログアウト

また、登録状況にて日本薬剤師会提出を選択すると、日本薬剤師会提出年を指定し、検索することができます。登録済みの実践記録の編集が可能です。一覧に表示の実践記録のタイトルをクリックすると実践記録の確認画面が表示されます。編集対象の実践記録かどうか確認の上、「編集する」ボタンをクリックしてください。

研修形式	全て
学習期間	---年--月--日から ---年--月--日まで
登録状況	全て
キーワード	SGLT2

検索

総件数: 3件

研修形式	学習日	提出年月日	タイトル
研修会	2014/07/30	2014/08/13	認知症の病態と薬物療法
	2014/04/22	2014/04/23	土勝薬剤師研修会(土勝病院薬剤師会学術セ...
セミナー	2014/05/29	2014/06/02	土勝病院薬剤師会 学術セミナー
自己学習	データが存在しません		
学術大会・学会	データが存在しません		
演習・体験	データが存在しません		
地域活動	データが存在しません		
社会奉仕	データが存在しません		
その他	データが存在しません		

実際の業務において「SGLT2」が処方となった際に「気を付けなければいけないこと実践記録に書いたなあ」と思い検索したところ2014/07/30に学習した内容に「SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」の記載がありました。

「利尿薬との併用は推奨されない。」

「原則として、本剤は他に2剤程度までの併用が当面推奨される。」

ことを念頭に置き処方監査することができました。

過渡的認定も修了し、今後は「JPALSを自己学習のためのツール」として使用される方々が増えると思います。是非、実践記録の内容を充実させ業務に活かして頂きたいと考えます。